

目次

■ 企業情報 (サステナブル経営)	1 - 8
目次 / 企業理念	1
会社概要 / グループ概要 / 事業紹介	2
トップメッセージ	3
財務情報	4
財務情報 (部門別実績)	5
担当役員メッセージ / サステナブル経営の推進	6
サステナブル・プロダクト / マテリアリティ	7
重点取り組みテーマ	8
■ 成長戦略 地球との共存 社員との共感 社会への貢献	9-11
価値創造のプロセス	9
トップインタビュー	10
■ E: 環境 地球との共存 社員との共感 社会への貢献	12-15
カーボンニュートラル / 環境マネジメント / 気候変動対策	12
生物多様性保全 / TCFDに基づく開示	13
TCFDに基づく開示 (続き)	14
■ S: 社会 地球との共存 社員との共感 社会への貢献	16-20
人権 / 人権デューデリジェンス	16
健康経営の推進 / 労働安全衛生	17
ダイバーシティ / 人材育成 / 労使関係	18
サプライチェーン / 品質に対する取り組み	19
ステークホルダー / 評価・イニシアチブ / 社会貢献	20
■ G: ガバナンス	21-26
コーポレートガバナンス	21
コンプライアンス	22
コンプライアンス (続き) / リスクマネジメント	23
役員報酬 / スキル・マトリックス	24
役員の紹介	25
■ データ集	27-28
財務データ	27
株式情報 / 編集方針	28

企業理念

■ FUJITSU GENERAL Way

FUJITSU GENERAL Way は、私たち富士通ゼネラルグループが持続的に発展する上で、土台となる基本指針であり、当社が目指すべき姿と、お客様と社会のために果たすべき使命、存在価値を表すものです。

また、富士通ゼネラルグループで働くすべての人が行動する上で、判断の拠り所となる羅針盤です。

私たちは、企業理念に掲げたミッションを達成するための行動を実践し、事業を通じて、快適・健康・安心・安全な社会の実現、その先にあるいのちを見つめ、世界中の人々と共に未来を切り拓いてまいります。

■ FUJITSU GENERAL Way の体系

FUJITSU GENERAL Way は企業理念、行動規範の二層から成り立っています。

FUJITSU GENERAL Way

Our Mission

私たち、富士通ゼネラルグループが目指すべき姿を宣言したものです。

- 共に未来を生きる -

私たちは革新的なモノづくりを通じて、世界中のお客様と社会のために、安らぎに満ちた、今日にない明日を届けます。

企業理念

Our Philosophy

Our Mission を実現するために、私たちが大切にしている考え方を示したものです。

自発的に取り組みます

私たちは、自己成長のための努力を惜しまず、たゆまぬ創意工夫と先見力で、自ら新しい事に挑戦します。

人を思い活かします

私たちは人を思いやり、異なる文化と多様性を活かし、協調と対話を通じて、人の可能性を最大化します。

誠実さを大切にします

私たちは、誠実さを旨とし、常に高い倫理観を持って、人として正しい道を歩みます。

行動規範

富士通ゼネラルグループの社員として厳守すべきことを表したものです。

■ 人権を尊重します

■ 法令を遵守します

■ 公正な商取引を行います

■ 知的財産を守り尊重します

■ 機密を保持します

■ 業務上の立場を私的に利用しません

会社概要 (2023年3月31日現在)



株式会社富士通ゼネラル

- 本社所在地：神奈川県川崎市高津区末長3丁目3番17号
- 代表者：
 - 代表取締役社長 経営執行役社長
 - 齋藤 悦郎 (2015年6月23日から)
- 設立：1936年1月15日
- 資本金：18,172百万円
- 社員数：連結 8,335名
単独 1,729名
- 取締役員数 (2023年6月28日現在)
 - ：11名 (うち社外取締役5名)
- 連結子会社：39社
持分法適用会社：3社
- 上場証券取引所
 - ：東京証券取引所 プライム市場

グループ概要 (2023年3月31日現在)

■ 空調機

【製造・開発会社】

Fujitsu General (Thailand) Co.,Ltd.
 FGA (Thailand) Co.,Ltd.
 Fujitsu General Air Conditioning R&D (Thailand) Co.,Ltd.
 富士通將軍 (上海) 有限公司
 富士通將軍中央空調 (無錫) 有限公司
 江蘇富天江電子電器有限公司
 FGAHP 他1社

【販売会社】

エアロシールド(株)
 Fujitsu General America, Inc.
 Fujitsu General do Brasil Ltda.
 Fujitsu General Air Conditioning (UK) Ltd.
 Fujitsu General (Euro) GmbH
 Fujitsu General (Italia) S.p.A.
 Fujitsu General (Middle East) Fze
 Fujitsu General (Asia) Pte. Ltd.
 Fujitsu General (India) Private Ltd.
 Fujitsu General (Aust.) Pty Ltd.
 Fujitsu General New Zealand Ltd.
 富士通將軍商貿 (上海) 有限公司
 Fujitsu General (Taiwan) Co.,Ltd. 他1社

【設計・施工およびサービスメンテナンス会社】

ABS Fujitsu General Private Ltd.
 Precise Air Group (Holdings) Pty Ltd. 他7社

■ 情報通信・電子デバイス

(株)富士通ゼネラルエレクトロニクス
 (株)富士通ゼネラルOSテクノロジー 他1社

■ その他

(株)富士エコサイクル
 (株)富士通ゼネラルイーエムシー研究所 他3社

事業紹介

■ 空調機事業

いつも"人"を包みこんでいる、"空気"という存在。富士通ゼネラルは、快適でクリーンな"空気"を生み出す空調機器でその時代、その地域に最適な本場の"ここちよさ"を実現します。



■ 情報通信システム事業

消防・防災体制構築の一環として、住民の生命・財産を守る消防システム、安心安全な暮らしを守る防災システムを、提案・製造・販売・保守までの一貫したソリューションシステムサービスとして提供しています。



■ 電子デバイス事業

カメラ、電子部品、ユニット製造を柱に、ソリューションビジネスを展開しています。お客様が抱える技術・品質・コスト等の課題解決で、各産業分野にて高い評価を得ています。



トップメッセージ

■ サステナブル経営を通じた企業理念の実現

富士通ゼネラルグループの企業理念「FUJITSU GENERAL Way」は、お客様と社会のために果たすべき使命として Our Mission「- 共に未来を生きる -」を掲げています。これは「SDGs（持続可能な開発目標）」の理念である「誰一人取り残さない」と考えを同じくするもので、お客様と社会に寄り添い、新しい価値の提供により、快適・安心・安全な社会の実現に貢献することを目指した、当社グループで働くすべての人の羅針盤となっています。

また、企業理念の実現に向けて「サステナブル経営」をすべての事業活動の基本に据えています。「サステナブル経営」では「地球との共存 (Planet)」「社会への貢献 (Society)」「社員との共感 (Our People)」を三つの柱として、中長期的な事業の成長・発展を通じた持続可能な社会実現への貢献を目指しています。

本業を通じた持続可能な社会の実現では、当社グループの主力事業であるヒートポンプ技術を活用した空調機は、世界各国・地域においてクリーンかつ省エネ性・快適性・安全性に優れた製品としてだけでなく、暖房や給湯用途の化石燃料燃焼機器の代替製品として、気候変動の抑制に貢献することが期待されています。当社グループは、生活に欠かせない必需品として世界的にニーズが高まっているエアコンや、運転時に温室効果ガス（以下GHG）を排出しないATW（ヒートポンプ式温水暖房システム）などの社会課題を解決する製品の提供で、持続可能な社会実現への貢献を目指します。

また、情報通信システム・電子デバイスにおいても、気候変動を背景とした自然災害の増加により必要性が増した、安心・安全を支える防災・消防システムの提供や、産業機器等の省エネ化によりGHGの排出量削減に貢献する高効率パワーモジュール事業など、事業基盤の強化を進めると共に社会課題の解決に貢献します。

この様に、社会課題の解決や持続可能な社会への貢献が期待できる戦略的製品・サービスを「サステナブル・プロダクト（以下サブプロ）」に認定し、新規開拓や市場開拓などの重点投資を行うことで、2030年度サブプロ認定製品の連結売上高30%以上を目指して、売上拡大を図っていきます。

「地球との共存」の成果としては、当初の計画より早く2022年4月に事業活動における電力を再生可能エネルギー100%に転換しました。今後は電力以外にも再生可能エネルギーへの転換を進めると共に、販売する製品のさらなる省エネ性能向上やデジタル技術を活用した節電効果の向上、製品輸送効率の改善などを進め、バリューチェーン全体で、2035年度にGHG排出量55%削減（2021年度比）、2050年度にはGHG排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル達成」を目指して取り組みを進めていきます。

「社会への貢献」としては、空調機、情報通信システム・電子デバイスの各事業の強化を通じて快適・安心・安全な社会、空間を提供するとともに、新規事業創出プログラム等の社内施策により、社会課題解決に向けた新たな価値の提供を目指します。これらと並行して、責任ある調達活動の体制強化や地域交流活動を推進し、社会の一員としての社会貢献にもより一層取り組んでいきます。

「社員との共感」では、社員が健康で気力を保ち、生産性とモチベーションの向上を図れる職場づくりに向け、健康経営の推進を続けるとともに、社員一人ひとりが自身のキャリアを主体的に考え自ら成長していくことが、持続的成長にとって不可欠なことから、「自発的なキャリア形成と学び」を支援する取り組みを強化していきます。

こうした努力を続けることにより、経営基盤ならびにお客様や社会からの信頼をより一層強固なものとし、当社グループの継続的な成長を目指して常に自己革新を追求してまいります。

Living together for our future - 共に未来を生きる -

私たちは、革新的なモノづくりを通じて、世界中のお客様と社会のために、安らぎに満ちた、今日にない明日を届けます。

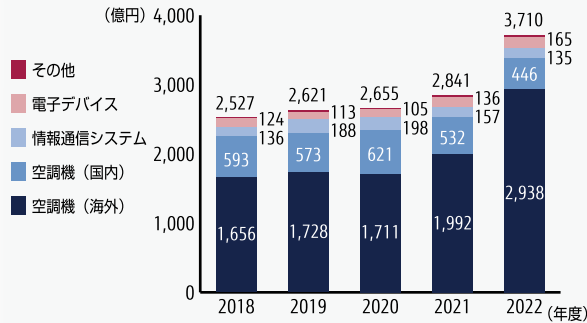


株式会社富士通ゼネラル
代表取締役社長
経営執行役社長

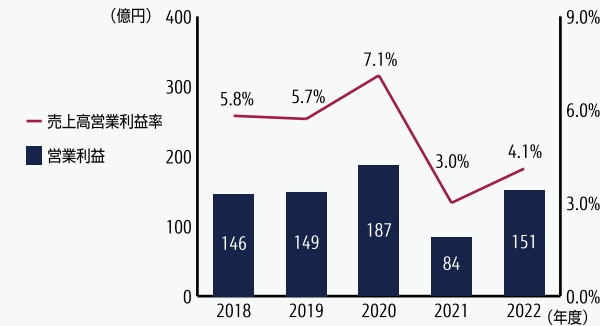
齋藤 雄郎

財務情報

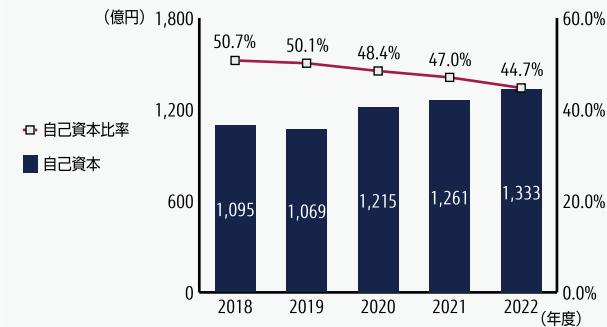
■ 売上高



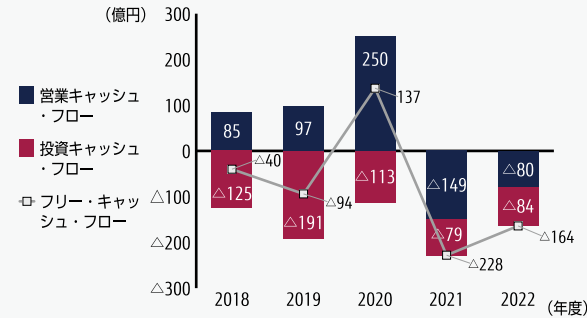
■ 営業利益 / 営業利益率



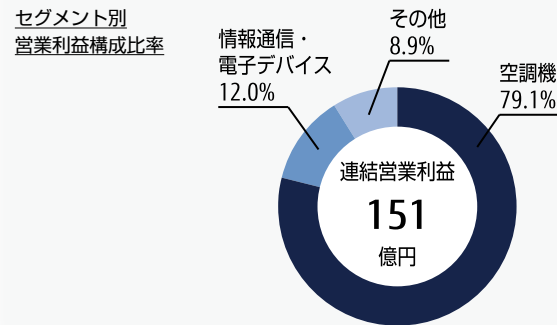
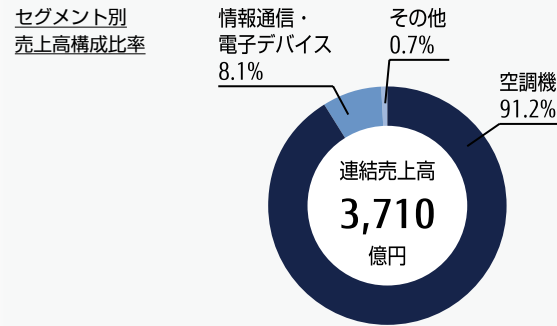
■ 自己資本 / 自己資本比率



■ 営業 / 投資 / フリーキャッシュフロー



■ セグメント別「売上高・営業利益」構成比率



■ 地域構成



* 数値は 2022 年度実績

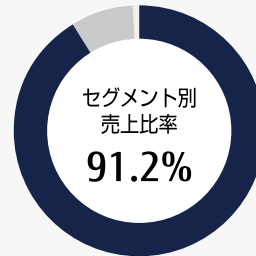
財務情報（部門別実績）

■ 空調機部門



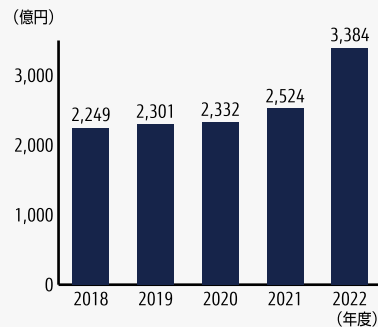
空調機事業
の売上高比率

売上高
3,384 億円

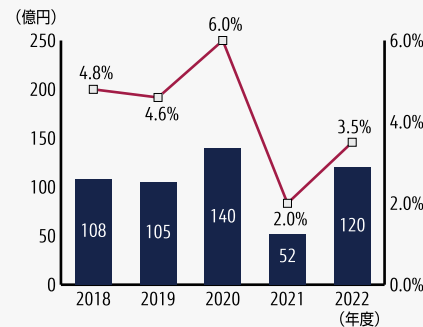


空調機部門では、国内向けは上海市の都市封鎖の影響を挽回しきれず減収となったものの、海外向けは調達・生産・出荷オペレーションの正常化が着実に進展し、高水準となっていた受注残の出荷が順調に進むとともに、円安に伴う円換算増もあり、売上高は3,384億円（前年度比34.1%増）となりました。営業利益は、素材・部品価格や海上運賃の高騰に加え、事業強化に向けた先行投資費用の増加、円安によるコスト増などの影響を大きく受けましたが、売価改善や海外向けの販売物量拡大の効果がそれらのマイナス要因を上回り、120億円（前年度比131.9%増）となりました。

□ 売上高



□ 営業利益／営業利益率

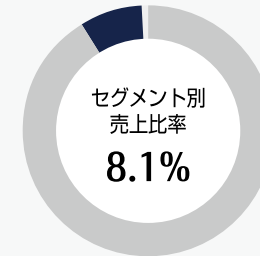


■ 情報通信・電子デバイス部門



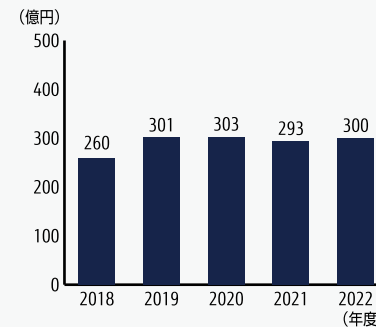
情報通信・電子デバイス事業
の売上高比率

売上高
300 億円

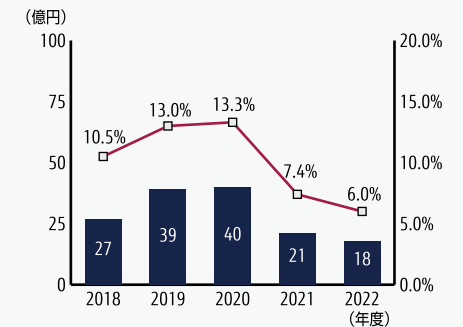


情報通信・電子デバイス部門では、電子デバイスの販売増により、売上高は300億円（前年度比2.5%増）となりましたが、情報通信システムの減収影響が大きく、営業利益は18億円（前年度比16.7%減）となりました。

□ 売上高



□ 営業利益／営業利益率



担当役員メッセージ

■ 気候変動抑制への貢献

近年、気候変動が原因と見られる自然災害の発生は世界的に増加傾向にあり、その対策は緊急を要しています。

当社の主力事業「ヒートポンプ技術を活用した空調機（エアコン、ヒートポンプ式温水暖房システムなど）」は、快適な生活の必需品としてだけでなく、化石燃料を使用する暖房機器からの置き換えによる、温室効果ガスの排出量削減に寄与する製品としても欠かせない存在となっています。これらの社会課題を解決する製品の提供により、気候変動の抑制と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■ 人権の尊重

富士通ゼネラルグループの行動規範では、1番目に「人権を尊重します」と掲げています。これは、企業活動において人権尊重の精神を第一に活動するという姿勢を示したもので、その実現には全ての従業員が人権問題を正しく理解し、実際に行動していくことが重要と考えています。教育・啓発活動を重ねると共に、相談・救済窓口を通じた是正処置や再発防止に努めることで、サプライチェーン全体で人権尊重の精神を育てていきます。

■ ガバナンス強化の取り組み

誠実さを旨とし、高い倫理観を持ってステークホルダーへの責任を果たすため、ガバナンス強化の取り組みを進めています。透明性の高い事業活動、法令順守の徹底、公正な商取引、適切な情報管理、腐敗防止など、企業理念が掲げる精神のもとリスク管理と対策に努め、実効性のある体制の構築と強化を推進していきます。

経営執行役
コーポレートコミュニケーション室長
兼 サステナビリティ推進統括部長
加納 俊男

サステナブル経営の推進

■ 基本方針

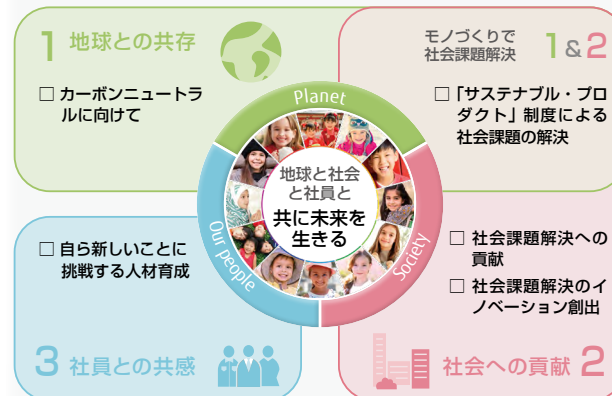
富士通ゼネラルグループは、「サステナブル経営」を推進するために、2021年3月にサステナブル経営の基本方針を策定、公表しました。

サステナビリティの開発目標SDGsは、今後のビジネス創出を牽引していくものであり、その理念「誰一人取り残さない」は当社の企業理念「- 共に未来を生きる -」と同義語である。

サステナブル経営の推進は中長期的観点に立ち、未来の子どもや社会に持続可能な社会実現を約束するものであり、その加速によって当社事業の成長を追求する。

■ 3つの重点テーマ

「サステナブル経営」を進めていくうえで、重点テーマとして「地球との共存 (Planet)」「社会への貢献 (Society)」「社員との共感 (Our People)」を3つの柱として施策を実施しています。

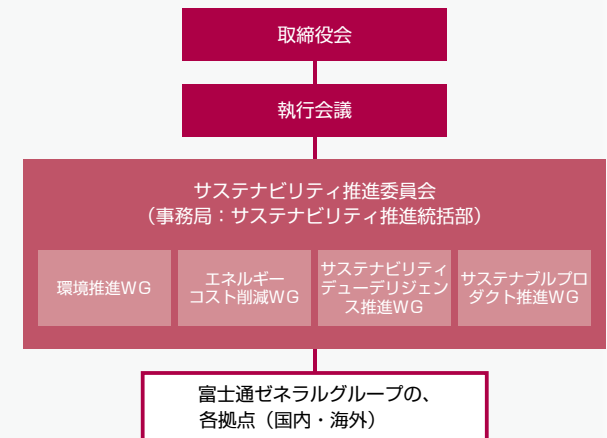


■ サステナブル経営の推進体制

富士通ゼネラルグループでは、社長をCSO (Chief Sustainability Officer) とし、「サステナブル経営」を軸に活動を進めています。

また、サステナブル経営を中心とした、サステナビリティに関わる計画や進捗、課題については、サステナビリティ推進委員会にて審議しています。

□ 推進体制図



サステナブル・プロダクト

■「サステナブル・プロダクト」制度の導入

富士通ゼネラルグループでは、社会課題を解決し持続可能な社会への貢献が期待できる当社グループの戦略的製品およびサービスを、「サステナブル・プロダクト（以下、サスプロ）」として社内認定しています。

さらに、革新的な技術やサービスにより、持続可能な発展に一定程度の寄与が認められ、かつ当社グループの事業成長を追求できる製品およびサービスを「サスプロ・ゴールド」と社内認定し、これらの製品およびサービスへ集中投資を行うことにより、2030年度サスプロ関連で全社売上高の30%以上をめざすことで、サステナブルと成長戦略の融合を積極的に推進していきます。

□ サステナブル・プロダクト（サスプロ）

社会課題を解決し、持続可能な社会への貢献が期待できる、製品・サービスを「サスプロ」として認定しています。



□ サステナブルプロダクト・ゴールド（サスプロ・ゴールド）

当社認定の「サスプロ」製品・サービスであり、持続可能な発展に一定程度の寄与が認められる製品・サービスを「サスプロ・ゴールド」として認定しています。



■ サステナブル・プロダクト認定製品

寒冷地向けエアコン 「ノクリア」ZN シリーズ	寒冷地向けエアコン (北米向け)	A TW (Air-to-water)	小型GaN モジュール
インド向け冷房専用 インバーター エアコン	中東向け冷房専用 インバーター エアコン	Cómodo gear	AEROSHIELD

マテリアリティ（重点課題）

■ マテリアリティ

富士通ゼネラルグループは、サステナブル経営を推進するにあたり、マテリアリティ（重点課題）を特定し、事業活動を進めています。

マテリアリティの特定にあたっては、SDGsやGRIスタンダードなどの国際的なガイドライン、外部調査機関などによる各種調査結果を踏まえ、当社グループの企業理念や経営方針と照らして課題を抽出しました。

抽出した課題は「ステークホルダーの関心・影響」と、「当社グループにとっての重要性」として区分け整理し、より重要度の高い課題を重点取り組みテーマとしています。

■ マテリアリティ特定プロセス

Step 1 社会的課題の抽出

GRIスタンダードなどからステークホルダー視点の課題を抽出



Step 2 当社グループの取り組むべき課題抽出

企業理念、経営方針などを踏まえて当社グループの重点課題を抽出



Step 3 マテリアリティの特定

ステークホルダーの関心・影響と当社グループにとっての重要性を整理し、マテリアリティを特定

■ マテリアリティ分析結果

必須 極めて高い ステークホルダーの関心・影響 かなり高い 高い	コンプライアンス・ガバナンスの徹底、 人権の尊重		
	◇化学物質管理	◇資源の効率的利用 ◇エネルギー・廃棄物・水の削減 ◇大気汚染防止 ◇サプライチェーンマネジメント	◇気候変動への対策 ◇製品の安全性・信頼性
	◇生物多様性保全	◇ステークホルダー・エンゲージメント	◇ダイバーシティ ◇健康経営・労働安全衛生 ◇新価値創造
		◇情報セキュリティ ◇コミュニティ貢献	◇人材の育成
高い かなり高い 極めて高い 当社グループにとっての重要性			

重点取り組みテーマ

* この欄に記載されたSDGsアイコンは、当社が活動することにより貢献できると考えるSDGsの目標です。

活動分類		主な取り組み	管理指標 (KPI)	SDGs	
地球との共存	気候変動への対応・エネルギーの削減	製品使用時のCO ₂ 排出量削減	温室効果ガス排出量		
		事業活動におけるCO ₂ 排出量削減	温室効果ガス排出量		
	資源の効率的利用	省資源化設計の推進	—		
	大気汚染防止	使用材料の廃棄ロス削減	購入量に占める廃棄ロス比率		
		水使用量・廃棄物の削減	水使用量削減 廃棄物削減	水使用量削減率 廃棄物総発生量削減率	
社会への貢献	お客さまとのかかわり	新価値創造	社会課題解決に貢献する研究開発 社会課題解決に貢献する商品の提供	— 「サステナブル・プロダクト」連結売上高構成比	
		お客さまの期待に応える製品の提供	品質向上への取り組み	—	
		お客さまとのコミュニケーション向上	コールセンターにおける顧客満足度向上への取り組み	—	
	地域社会とのかかわり	地域社会との共存	次世代育成の推進	—	
			地域共生の推進	—	
	福祉支援		—		
	お取引先とのかかわり	お取引先への働きかけ	CSR調達の推進	現地監査社数	
株主・投資家との対話		株主・投資家との対話 株主・投資家に向けた情報開示	— —		
社員との共感	自ら新しいことに挑戦する人材の育成	自ら新しいことに挑戦する制度の導入	—		
		社員研修の実施	—		
	健康意識を高め "Good Life" を目指した職場づくり	メンタルヘルス対策	—		
		生活習慣病対策	—		
		受動喫煙防止・卒煙に向けた取り組み	—		
		食生活対策	—		
		女性特有の健康への理解促進 治療と就業の両立支援	— —		
多様性を活かして社員が柔軟に働ける職場づくり	ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み	新任管理職、リーダー層の女性社員新規昇格人数 正規雇用社員（男性）の育児休職取得率、取得日数			
	ワーク・ライフ・バランスへの取り組み	—			
	労働組合とのコミュニケーション	—			
ガバナンス	人権の尊重	人権啓発活動の推進	—		
		人権侵害への対応	人権デューデリジェンス実施回数		
	コンプライアンス・ガバナンスの徹底	コンプライアンス教育の実施	—		